



↑自作の窯で、竹炭づくりに初挑戦する会員たち

## ★竹 唐隈の自然を守る会 炭づくりにチャレンジ

唐隈の川を美しくよみがえらせようと1月28日、唐隈の自然を守る会は水の浄化に効果があるとされる竹炭づくりに挑戦しました。

ドラム缶や煙突、U字溝、石、赤土などを組み合わせて手づくりした窯に、1、2カ月寝かせた孟宗竹を80センチ～40センチに切り、節を落として敷き詰めて点火しました。事前にさつま町グリーン・ツーリズム研究会へ視察に行っていた同会のメンバーは、煙突から黄色い煙が上がるのを待ちましたが、なかなか姿を見せませんでした。U字溝や石などの位置を変えるなど試行錯誤して数十分すると、視察で見た煙がモクモクと立ち昇り、歓声が上がりました。

同会々長の上筋睦雄さんは「竹炭は、子どもたちといっしょに川へ設置したい。目標が水・土・里なので、少しでも自然を残していきたい」と話していました。

↓寒い中、ちょうちんを片手に進む行列



## ★歌 城川内でちょうちん行列 や太鼓にあわせ練り歩く

1月28日（旧暦の12月14日）は忠臣蔵で有名な赤穂浪士が吉良邸に討ち入りをした日です。城川内子ども会育成会では、毎年この日に「ちょうちん行列」として、ちょうちんやたいまつを手に、物語の歌を太鼓のリズムに合わせて唄いながら練り歩きます。

当日は、近年になく晴れ渡り寒月が輝くなか元気に伊勢神社、古射場、長光寺などを巡りました。終了したあとは、父母らが用意したとん汁を食べて、寒さで冷えた体を温めていました。

## ★辺り 町内全域数年ぶりの積雪 一面銀世界

1月13日、県内はこの冬一番の強い冬型の気圧配置の影響で大雪となり、本町でも積雪を観測しました。

同日は、早朝から大粒の雪が舞い降り、夜が明けても降り続いたことから、屋根や畑、道路などを覆い、辺り一面銀世界となりました。

この影響で凍結し、普段と様変わりした道路では、横滑りや立ち止まってしまう車が見られ、町内を巡回するバスも、一時運休となりました。



↑休み時間に、学校の校庭で雪合戦をする児童たち